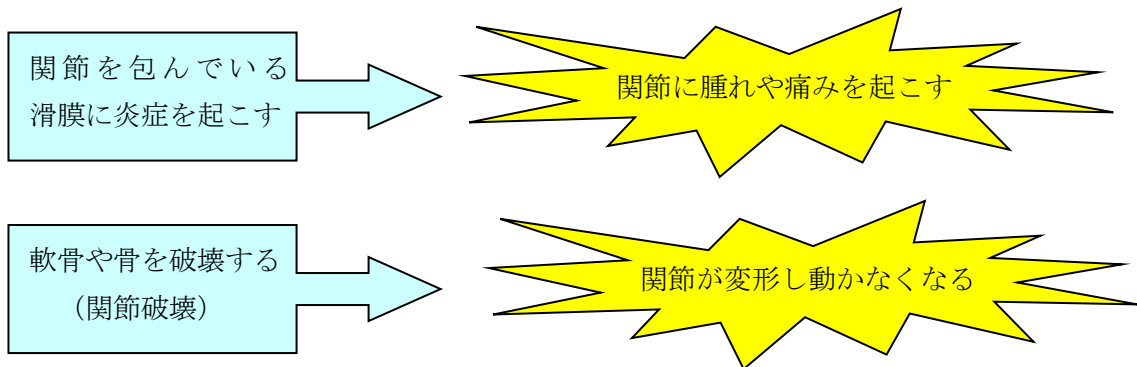


レミケードを投与される患者さまへ

《関節リウマチとTNF α 》

関節リウマチは、体の免疫に何らかの異常が起きる「自己免疫性疾患」です。通常は細菌やウイルスなどの異物から体を守る免疫の働きが、関節を異物と間違えて攻撃することで、炎症や関節の破壊を引き起こしてしまいます。

関節リウマチの関節ではTNF α （ティーエヌエフ・アルファ）という物質が大量に作られています。TNF α はもともと人の体にあるものですが、関節リウマチでは異常に増加しています。TNF α は、関節リウマチの関節で次のような悪さをしています。



《レミケードの作用》

レミケードはTNF α と強力に結合してその働きを抑えたり、TNF α を作っている細胞そのものを壊します。それにより、関節の痛みや腫れをやわらげる、関節破壊の進行をくい止める、生活動作（歩行、手先を使った作業など）の障害を軽減する効果が期待できます。

《レミケードの投与方法》

- レミケードは病院で点滴します。1回の点滴は2時間かけて行います（生理食塩液250mlに溶解）。4回目以降は、1時間で点滴できる場合もあります。
- レミケードの点滴を行っているときは、血圧・体温・呼吸数などを測り、点滴投与時に起こる副作用をチェックします。
- 初めての点滴の後は、その2週間後、6週間後に投与し、以後は8週間ごとになります。
- レミケードの治療を行っている期間はリウマトレックスも服用します。
- レミケードの効果は、1回の点滴でおおよそ8~12週間持続します。

